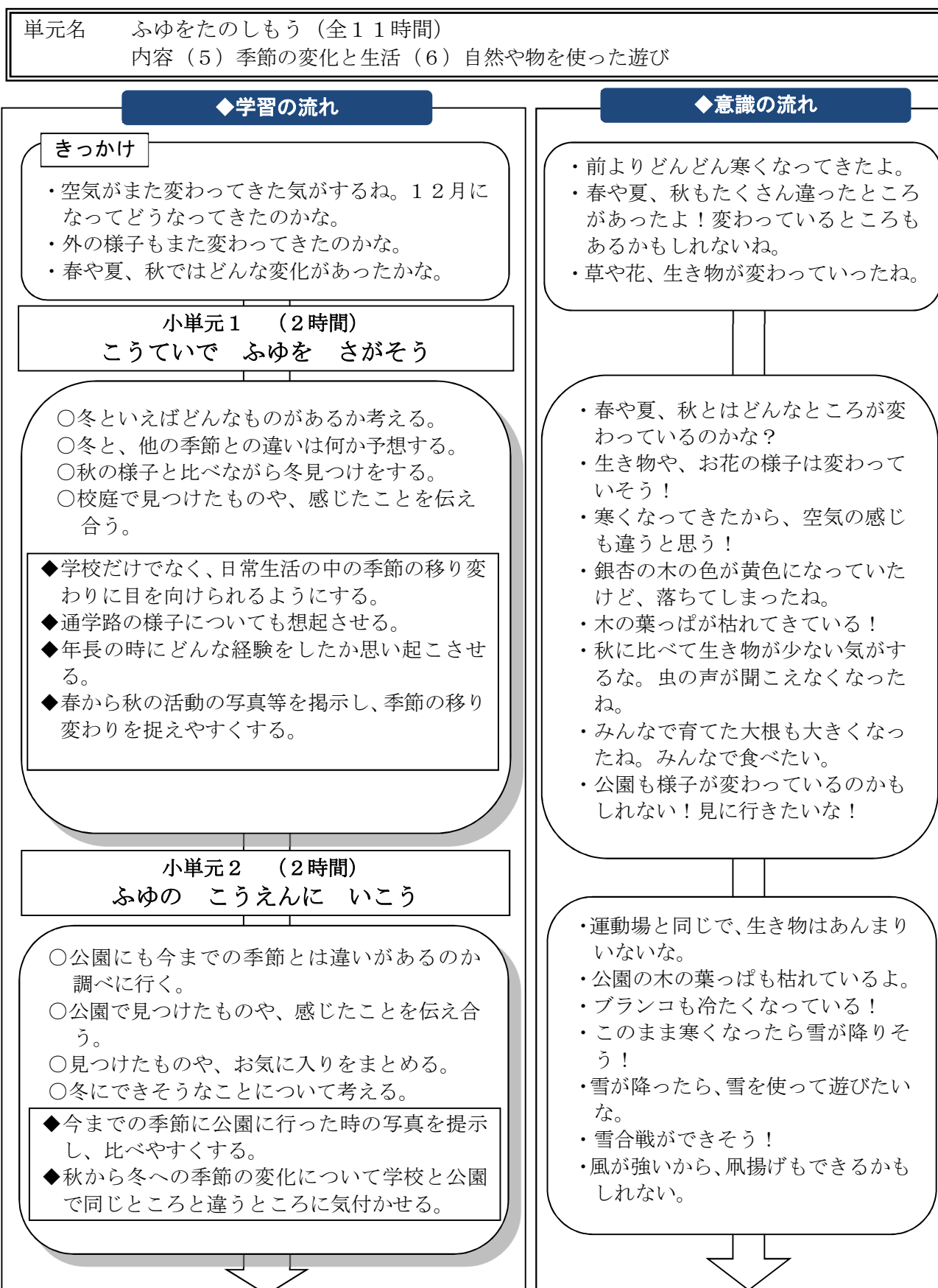


# 第1学年 生活科 学習指導案

令和5年12月13日(水) 第3校時  
1年 児童数8名

## 1 単元構想図



小単元3 (5時間)  
ふゆの あそびをしよう

- 自分の考えた方法で冬の特徴を生かした遊びを行う。
- 遊びや遊びに使う物を工夫しながら友達と遊ぶ。
- 凧揚げ、風車、影遊び等を行う。

- ◆道具や材料を揃え、いつでも活動に取り組めるように環境を整えておく。
- ◆園の経験を想起させたり、友達と相談させたりしてやってみたい遊びのイメージを膨らませる。

小単元4 (2時間)  
ふゆの ことを つたえよう

- 遊んだ中から、特にお気に入りの遊びをまとめて冬の絵本を作る。
- 学習発表会で他学年に伝える方法を考える。

- ◆実際に遊んで感じたことを絵日記にまとめ、自分たちが感じたことを記録する。
- ◆友達と交流しながら、まとめるようにする。
- ◆他の学年にも伝えられるように、季節の絵本にまとめるということを確認する。
- ◆これまでの活動を思い起こしながら、四つの季節を遊びの視点で振り返らせる。

- ・園では氷の上でスケートをしたよ。
- ・園の時よりも大きな氷を作ってみたい。
- ・雪が降ったら雪合戦をしたいな。他には何ができるのかな？
- ・風が強いから、風を使った遊びを試してみたい。
- ・影も長くなっているから、影を使った遊びもできるかもしれない。

- ・雪を使った遊びが面白かったです！
- ・他の季節ではそれはできないからね。
- ・生き物がいなくなってさみしかった。春になったら出てくるかな？
- ・風が強い日には凧が上手に揚がったね。
- ・大きな氷の作り方を教えたいな！
- ・冬だからできる遊びだね！みんなにもお気に入りの伝えたい！
- ・季節の絵本をみんなに見てもらいたいね。

単元で付きたい力

- 冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや、それを利用した遊びの面白さに気付くことができる力
- 冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、自然のよさを感じたりし、遊びや遊びに使う物を工夫する力
- 冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、身近にある物を使って遊ぶ活動や使う物を工夫して作ったりするなど、自分の生活を楽しくしようとする力

## 2 単元について

### ○単元観

#### (5) 季節の変化と生活

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

#### (6) 自然の物を使った遊び

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

本単元は、学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」(6)「自然の物を使った遊び」を受けて設定したものである。また、1年間を通した学校内や校区内の自然と関わる四度目の活動になる単元である。

本単元では、冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、自然を利用した遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするようにすることがねらいである。

児童はこれまでの活動を通して、「視覚」「聴覚」「嗅覚」「触覚」「味覚」の感覚を使って、季節と関わってきている。本単元でも、五感を生かしながら、季節の変化を感じる中で「夏や秋の虫は今ごろどうしているのだろう」「冬も木や花の様子が変わっているかもしれない」「冬もいろんな遊びができるかな」といった、疑問や発想を生かして活動を計画することができる。

また、児童の発想で、自分たちだけでは難しいものが出てきた際、地域の方に協力をしてもらい、共に活動することを通して、地域の方との交流を深めることもできる。

このような活動を通して、子どもたちが季節の変化に気付き、季節を取り入れながら自分たちの生活をより楽しくしていこうとする意欲をもたせることができる単元である。

### ○児童観

本学級の児童は、認定こども園でたくさんの季節遊びを経験している。例えば、秋には地域の方との芋掘りやまつぼっくりを使ったけん玉づくり、冬には園庭の氷でスケートや自然物を水の中に入れて凍らせたりする遊びを行い、季節の特徴を生かした遊びを楽しんできている。

入学してからも「春見つけ」「夏見つけ」「秋見つけ」等、季節に関わる活動を年間を通して行ってきた。諸感覚を働かせて季節の特徴を探したり季節ならではの遊びをする中で、「春にいた生き物がいなくなった。」「夏にいた蝉の声が聞こえなくなった。」「秋の空気のおいになってきた。」等、気付いたことを自分の言葉で伝え合ったりする姿が見られるようになってきている。また、地域の方の協力を得ながら様々な経験もしてきた。本単元を通して、冬の自然の特徴に気付くと共に、それぞれの季節がつながり繰り返されていることに気付かせ、再び訪れる春をより楽しく生活できるようにしていきたい。

5月に実施した生活科・総合的な学習の時間アンケートの一年生の結果は以下の通りである。

	項目内容	5月 肯定(%)
1	津野町が好きですか。	100
2	生活科の勉強は好きですか。	100
3	津野町のために、なにかをしたり、してみようと思ったことがありますか。 (地域の行事への参加、ゴミ拾い、元気なあいさつ、など)	100
4	地域の人から大切にされていると感じることがありますか。	100

5	生活科の時間に、他の授業で学んだことも取り入れて学習していますか。	85.7
6	自分の考えをわかりやすく友だちに伝えることができますか。	100
7	友だちと話し合うことで、自分がわからなかったことがわかったり、新しいことに気づいたりすることはありますか。	100
8	生活科の時間で学んだことは、自分の生活に役立っていると思いますか。	100
9	大人になっても、津野町や高知県のために、自分のできることをしたいと思いませんか。	100
10	地域の人と勉強して、自分の考えが広がったり、自分の将来について考えたりするきっかけになりましたか。	100

すべての項目に肯定的な回答が多くみられる。「津野町が好き」「地域の人から大切にされている」等、1年生の生活科の目標の「津野町大好き」にも繋がると感じる。5月に実施したアンケートのため、これらの結果は、年長児の経験が基盤となっていると考えられる。年長児の経験で養った感覚を引き続き育みながら、1年生としての経験も増やしていきたい。そこで、本単元では児童の冬の活動の中に「地域の人との交流を深める機会」を設定することで、「津野町が好き」「地域の人から大切にされている」という感覚をさらに育んでいきたい。

本校の研究主題である、「対話」の力を高めるためにも、「自分の考えをわかりやすく友だちに伝えることができますか。」や「友だちと話し合うことで、自分がわからなかったことがわかったり、新しいことに気づいたりすることはありますか。」の項目も、向上を意識して行っていく必要がある。友達と計画を立てたり、活動の中で気付いたことを伝え合ったりすることで、児童の対話の力も高まっていくと考える。

### ○指導観

本単元では、冬見つけや、冬の自然を生かした遊びを通してそれらの違いや特徴を見つけるとともに、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気づき、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにできるようにする。

小単元1では、校庭での冬といえばどんなものがあるのかを考えたり、冬見つけの活動をしたりして、校庭の様子に変化していることに気付かせる。また、季節の絵本を見比べることで、これまでの自然の様子との違いを比べやすくする。「見る」「聞く」「嗅ぐ」「触る」「味わう」といった感覚を大切にしながらこれまでの季節見つけを行ってきたため、冬見つけでも引き続きその感覚を働かせた活動にしていく。

小単元2では、冬の公園に見学に行き、今までの季節との違いを見つける活動を行う。これまでの学習を通して感じた公園の季節の変化に気付かせる。また、校庭と公園の冬見つけを行う中で感じた、冬の自然を生かしてできることについて考える。今までの経験から考えられることや、新たにやってみたいことなど、児童の願いが引き出されるようにしていきたい。

小単元3では、小単元2で出た児童の願いを中心に、冬の自然や身近にある物を使う等して遊ぶ活動を行う。また、秋には地域の方のアイデアを生かした活動も行ってきたため、児童から地域の方の力を借りたいという願いが出た場合は、地域の方にも協力をしてもらう。

小単元4では、児童が行ってきた冬の遊びで印象に残ったことや、お気に入りの遊びをまとめて、季節の絵本を作成する。また、冬にはどんなものがあったのか、見つかったこともまとめていく。その際に、今までの季節との違いが分かるようなまとめ方を行うため、今までの季節の絵本も準備し、比べられるようにする。

季節は一年間を通して様々な姿に変えていくこと、それに伴って自分たちの生活が変化したり、遊びを工夫したりできるようになることなど、季節の変化の面白さを感じさせたい。身近な自然を取り入れたり利用したりして、自分の生活をよりよくしようとする態度を育成したい。

### 3 単元の見目

冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたりして、冬の自然の様子や季節によって生活の様子が変わることや自然を利用した遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

### 4 評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや、それを利用した遊びの面白さに気付いている。	冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたりしている。	冬の自然と関わる活動や冬の自然を利用した遊びを通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。
小単元における評価規準	1・2	①校庭や公園で自然の様子、秋から冬に変化していることに気付いている。	①春から秋の校庭や公園の様子と比較して、冬の自然の特徴を探している。	①楽しみたいという思いや願いをもって、冬の自然と触れ合おうとしている。
	3	②冬の自然や物は、いろいろな遊びに利用できることに気付いている。	②冬の自然を生かして繰り返し遊んだり、遊びや遊びに使う物を工夫したりしている。	②冬の自然と関わりたいという思いをもち、遊びを創り出そうとしている。
	4	③季節に合わせて、自然の様子や生活の様子に変化することに気付いている。	③遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだりしたことを振り返り、表現している。	③みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。

### 5 指導と評価の計画 (全11時間)

小単元名 (時間)	学習活動	評価規準	評価方法
1 こうていでふゆをさがそう (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬といえばどんなものがあるかを考え、他の季節との違いを想起する。</li> <li>校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷等、冬特有の自然を探したりして、気付いたことを伝え合う。(本時)</li> <li>家の近くの冬の物を観察し、発表して気付いたことを伝え合い、校庭の様子と比べる。(雨天時)</li> </ul>	知① 思① 態①	行動観察 ワークシート 発言
2 ふゆのこうえんにいこう (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷等、冬特有の自然を探したりして、気付いたことを伝え合う。</li> </ul>		行動観察 ワークシート 発言
3 ふゆのあそびをしよう (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童のアイデアを基にしながら、冬にできる遊びを行う。</li> </ul>	知② 思② 態②	行動観察 ワークシート 発言
4 ふゆのことをつたえよう (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の絵本に、お気に入りの遊びについて、今までの季節との違いをまとめ、伝える。</li> <li>学習発表会で他学年に伝える方法を考える。</li> </ul>	知③ 思③ 態③	行動観察 作成物 発言

6 展開 (晴天時)

◆第1次1時(2/11)

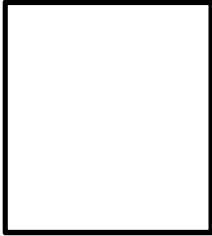
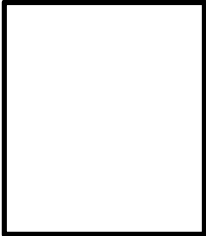
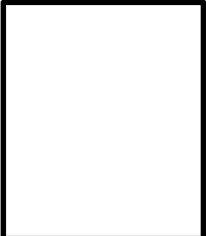
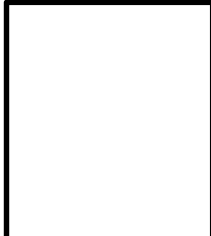
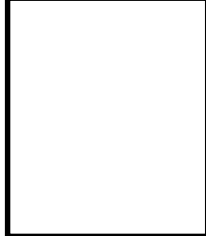
本時の目標	諸感覚を使って、冬の動植物を観察したり冬特有の自然を探したりして、気付いたことを伝え合うことができる。	
観点別評価規準	☒ 春から秋の校庭や公園の様子と比較して、冬の自然の特徴を探している。	
準備物	ワークシート・探検バッグ・虫めがね・iPad・袋・ホワイトボード・マジック	
<b>学習の展開</b>		
<b>活動の流れ</b>	<b>児童の意識の流れ</b>	<b>指導上の留意点 (◎)</b>
1. 前時の振り返りをする。(1分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬といえばどんなものがあつたのかなということ考えたね。</li> <li>校庭でも探してみたいと思っていたよ。</li> </ul>	◎前時の振り返りを生かし、本時にやってみようとは何かを確かめる。
2. 本時の課題を考える。(2分)		
こうていには どんなふゆがあるのか 見つけにいこう！		
3. 校庭に冬を探す。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋よりも葉っぱがたくさん落ちていね。色も変わってきている葉っぱも多くなった気がする。</li> <li>鉄棒が冷たくなっている。ずっと触れない。</li> <li>虫たちの声が聞こえないなあ。どこかに行ってしまったのかな？</li> <li>息が白い。空気も冷たくなったな。</li> </ul>	◎五感を働かせて活動できるように、「冬見つけのコツ」を確認する。 ◎記録を残したい児童のために、メモ用紙、ホワイトボード、タブレットなどを準備し、自由に選択できるようにする。
4. 見つけた冬を全体で伝え合う。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀杏の木の葉っぱがなくなっていたよ。</li> <li>秋にいた生き物はもういなくなっていた。教室の生き物は元気なのに。</li> <li>そういえば虫の音が聞こえなくなっていたね。</li> <li>鉄棒とかの遊具が冷たかった。</li> <li>息を吐いたら暖かかったよ。白くもなっていた。</li> <li>朝あつた氷が無くなっていたよ。</li> </ul>	◎今までの季節との違いが分かるように、各季節の絵本を準備しておく。 ◎児童が発見した冬を五感に分けながら板書にまとめる。 ◎子どもの言葉を生かした板書にする。
5. もう一度外に冬を探しに行く。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちが言っていたことを見に行ってみよう。</li> <li>本当に息が白くて暖かいよ。</li> <li>本当に鉄棒が冷たいね。</li> </ul>	☒ 春から秋の校庭や公園の様子と比較して、冬の自然の特徴を探している。(行動観察・ワークシート・発言)
6. もう一度見つけたものを伝え合う。(5分)		
7. 振り返りを行う。(2分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>また公園の様子も見に行ってみよう。</li> <li>枯葉も使って、また何かできるかもしれない。</li> </ul>	◎次の活動がでない場合は、今までの活動を想起させて、これからの活動を考えさせる。

7 板書計画

冬見つけのコツ！！  
・みる ・きく  
・さわる ・におう  
・あじわう

か こうていには どんなふゆがあるのか 見つけにいこう！

み

目のイラスト	耳のイラスト	鼻のイラスト	手のイラスト	口のイラスト
				

ふ つぎはどうする？

6 展開（雨天時）

◆第1次1時(2/11)

本時の目標	家の近くの冬の物を観察し、気づいたことを伝え合い、校庭の様子と比べることができる。	
観点別評価規準	☞ 家の近くの様子や校庭の様子から冬の自然の特徴を探している。	
準備物	写真・電子黒板・ワークシート・探検バッグ・虫めがね・iPad・袋	
<b>学習の展開</b>		
<b>活動の流れ</b>	<b>児童の意識の流れ</b>	<b>指導上の留意点（◎）</b>
1. 前時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬といえばどんなものがあったのかなということ考えたね。</li> <li>・家の近くの様子も撮影してきたよ。</li> </ul>	◎前時の振り返りを生かし、本時にやってみようとは何かを確かめる。
2. 本時の課題を考える。	いえのちかくには どんなふゆが あったのか つたえあおう！	
3. 家の近くで見つけた冬にどんなものがあったのかを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の時よりも葉っぱがたくさん落ちているね。色が変わってきている葉っぱも多くなった気がする。</li> <li>・わたしの家の周りも植物がなくなったよ。</li> <li>・それはわたしの家では見つけられなかったな。</li> <li>・家の周りにあったものは、校庭でも見つかるのかな？</li> <li>・夏や秋と何が変わったかな？</li> <li>・生き物たちはどこかに行ってしまったのかな？</li> <li>・木の色が変わって、今は葉っぱが全部落ちているよ。</li> <li>・校庭にも見に行きたい。</li> </ul>	◎家の中で見つけたものは、事前に確認しておき、本当に季節ならではのものになっているのか、確かめておく。  ☞ 家の近くの様子や校庭の様子から冬の自然の特徴を探している。（行動観察・ワークシート・発言）
4. 校庭に冬を探しに行く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭の木もやっぱり枯れているね。</li> <li>・空気が冷たくて、息が白くなるね。</li> <li>・氷がはっているよ。</li> <li>・虫たちは葉っぱのしたにいるのかな。</li> <li>・雨が梅雨の時よりも冷たいね。</li> </ul>	◎今までの季節がどうだったかを比べられるように、作成した絵本を置いておく。
5. 本時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もしかしたら公園でも同じものが見つかるかもしれない。行ってみたい。</li> <li>・公園の様子も見に行ってみよう。</li> </ul>	◎次の活動がでない場合は、今までの活動を想起させて、これからの活動を考えさせる。



## 7 板書計画

か

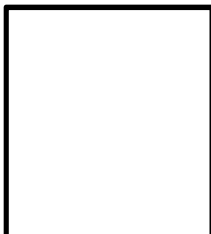
いえのちかくには どんなふゆが あったのか つたえ  
あおう！

み

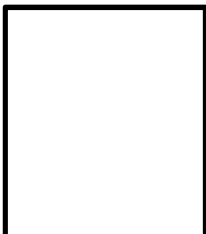
冬見つけのコツ！！

- ・みる ・きく
- ・さわる ・におう
- ・あじわう

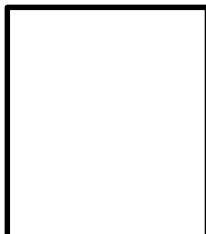
目のイラスト



耳のイラスト



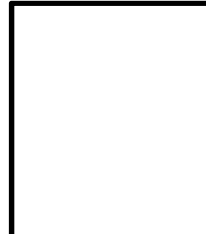
鼻のイラスト



手のイラスト



口のイラスト



ふ

つぎはどうする？